第 13 回 NOMURA Award （特別協賛社賞）受賞者コメント

関西大学中・高等部　大谷和海 教諭

参加数　　：　7 回　（※9 回まで京都文教高等学校より参加）

受賞コメント

STOCK リーグ参加の経緯

近年の経済社会環境の変化の中では、私たちがさまざまな金融商品やサービス等の内容を十分理解したうえで、自らの責任と判断のもと選択を行うことが求められています。

これまでにも幾つかの教材を利用してきましたが、レクチャーに寄りかからない教材を比較・検討した結果から、生徒たちにとって実社会に近い生活事象を取り上げることができ、主体的に参加できること、ポートフォリオを組む際の意思決定過程を重視できることなど考慮して日経 STOCK リーグ参加しています。

STOCK リーグを活用する目的は、金融の仕組みや取引のルールを学ぶ過程で直面する問題を単純化し、いかにして論理的に考えを進めていくことができるかということです。今回は中学生を対象に取り組んでみましたが、高校生を対象にした場合でも、答えが一つではない問題に対して考察過程を経ることにより、自ら意思決定することができる力を養っていきたいと考えています。

STOCK リーグの取り組みについて

Copyright Nikkei Inc. All rights reserved / Copyright Nomura Holdings, Inc. All rights reserved

金融に関する教育を実施するとなると投機やマネーゲームを教育で扱うのかという反応を受けたりします。しかし、実際には金融関係の相談件数が国民生活センターの「消費生活相談情報」のデータベース PIO-NET で上位にあり続けています。このようなギャップを埋めるためにも、STOCK リーグで架空の株式取引を行うことから、実際の金融取引に際してゲーム感覚で投資テクニックを学ぶという誤った理解をしないように特に配慮するとともにリターンとリスクに関して注意して理解させるように努めました。

実際の取り組みでは、自ら意思決定していく過程で、情報をいかに取捨選択できるかということを重視しました。その際、インターネット利用だけでなく、異なる複数の情報を同時比較しやすいということや情報の信頼性から、新聞の活用に重点を置きました。その中で、生徒たちは株価の背景にある政治・経済の動きを捉えることに関心を持つようになってきたと感じています。また、投資先として検討した企業が非上場であったことや、海外の企業に対しても簡単に投資できないということを理解できたことなど、実体経済の一部を垣間見ることができたことも成果の一つではないかと思います。

参加を終えて

STOCK リーグの活動から、生徒たちは企業の姿勢や社会の動きを捉えながら学習活動を終えることができました。これまで、遠い存在であった会社などが身近に感じられたように思います。このことは、この取り組みに参加しなければあまり意識することがなかっただろうなと感じました。

Copyright Nikkei Inc. All rights reserved / Copyright Nomura Holdings, Inc. All rights reserved

また、レポートの作成・提出が課されているため、自分たちの言葉で表現することの難しさを感じるとともに、書き上げた作品が手元に残るという達成感を味わっていました。参加した生徒たちの感想にもありましたが、ポートフォリオ学習において、投資テーマの設定には苦労していました。単に入賞することを目的とするのではなく、学習過程を重視して気軽に参加してもいいのではないかと思います。

注文をつけるとすれば、株式投資におけるゼロサムゲームの意味合いや手数料・配当金などに関して反映されるように改善されれば、より実体経済に近いことを学ぶことができるのではないかと思います。

Copyright Nikkei Inc. All rights reserved / Copyright Nomura Holdings, Inc. All rights reserved

第 13 回 NOMURA Award （特別協賛社賞）受賞者コメント

秋田市立秋田商業高等学校 米澤雅史 教諭

参加数　　：　9 回

受賞履歴　　：　審査委員特別賞 ： 第 10 回（※第 13 回以前の受賞履歴を掲載しています）

受賞コメント

STOCK リーグ参加の経緯

今回の表彰に際しまして関係者の皆様に心より御礼申し上げます。平成 16 年より情報活用技術を利用して課題解決型学習に取り組み、情報活用能力の育成と深化をはかろうという目的でこのコンテストに参加しています。多くの先生方からの支えにより、現在では本校商業科の柱となる授業として評価されています。特に第 10 回参加時には東京証券取引所グループの木村先生から授業をしていただき、学校という固定された授業形態から、外部とのつながりや普通教科との繋がりを意識した授業形態へと変化していくきっかけになりました。

STOCK リーグの取り組みについて

現在本校では STOCK リーグを通じて、商業専門校として生徒に身につけて欲しい指導目標を 3 つ挙げています。1 つ目は問題解決の為の ICT スキルの習得、2 つ目は企業の基本的な IR 情報やマーケティング手法・企業分析の理解、そして 3 つ目に仮想模擬株式取引を通じての、プレゼンテーション能力の育成です。私自身このコンテストに参加当初の頃を振り返ると、明確な目標が立てられ

Copyright Nikkei Inc. All rights reserved / Copyright Nomura Holdings, Inc. All rights reserved

ず手探りで授業を行っていた事を思い出します。回数を重ねていくうちに必要な事が増え続け、今は何をターゲットにして授業を展開していくかを考えられる状態になっております。企業の IR 分析、財務分析、著作権、マーケティング、ポートフォリオなど必要と思われるものは早い時期に授業で教える事を心がけ、その後、経済の変化に伴う株価変動の分析を中心に自ら考えさせる事を目標に授業を展開しています。最終的には第三者に自分の考えをプレゼンできるまでの自己表現力を到達目標としています。また生徒にはことあるごとに「未来予想図」という言葉を使っています。ドリカムの歌ではありませんが、将来の社会や生活を考えさせる事を心がけています。

これまで進路決定に悩んでいた生徒が、自宅で日経新聞を購読したり、家庭で株や経済の話題を出したりと、予想外の副産物も生まれ、保護者からも驚きの報告を受けています。年々受賞されるレポートの専門的な内容に驚くばかりです。今後も初心を忘れず、生徒に生きた経済を学ばせたいと考えています。

参加を終えて

近年、大学や企業が中心となった生徒・学生対象の金融に関わるコンテストが目につくようになりました。また、商業教育もキャリア教育や生涯学習の視点などから、求められる学習内容や環境が大きく変わってきているように感じられます。本校では授業を通じて「自ら学び、自ら考える」という目標を実現させる 1 つのツールとして、STOCK リーグに参加しています。実際の経済状況、変動し続ける株価を教材とし、「生きた経済」を学ばせる事がねらいです。本県では商業専門高校が

Copyright Nikkei Inc. All rights reserved / Copyright Nomura Holdings, Inc. All rights reserved

少なくなり、商業教育のやるべき事が混沌としています。多くの可能性を秘めた生徒に教師として伝えるべき事の１つがこのコンテストに隠されているのではないかと思っています。今後も外部に評価されるようなレポートを作成できるよう指導していきたいと思っております。なお一層のご指導ご鞭撻をお願いします。

Copyright Nikkei Inc. All rights reserved / Copyright Nomura Holdings, Inc. All rights reserved

第 13 回 NOMURA Award （特別協賛社賞）受賞者コメント

秋田市立秋田商業高等学校 長谷川大 教諭

参加数　：　7 回

受賞履歴　：　審査委員特別賞 ： 第 13 回　（※第 13 回以前の受賞履歴を掲載しています）

受賞コメント

STOCK リーグ参加の経緯

秋田商業の授業に「パソコン応用」というものがあります。これは、我が校が独自に設定した科目であり、文字通り、「3 年間の学習で培ったコンピュータの知識・技術を応用して課題を解決していく」ということがねらいとなっています。商業高校に学ぶ生徒として様々な検定資格取得し、コンピュータの知識・技術を習得したとしても、ビジネス社会において日々生じる沢山の事象について、その裏側に隠されている「メッセージ」を読む力を身に付けなければ、そこで培った力をいつどうやって何に対して発揮するのかを自分自身で決断することはできません。

STOCK リーグから私たち教育現場に発信されている「メッセージ」を汲み、そして私たちが目指すべき育成像を照らし合わせた結果であります。

STOCK リーグの取り組みについて

生徒 80 人が週 3 時間の授業を通して、STOCK リーグに参加しました。

Copyright Nikkei Inc. All rights reserved / Copyright Nomura Holdings, Inc. All rights reserved

1. 企業のマーケティング活動→その裏側の考察
2. 競争企業との比較→シェア分析・ターゲット分析とその考察
3. 企業（ミクロ視点）→市場・業界・地域というような（マクロ視野）へ考察発展
4. 企業の財務分析と競争企業との比較・考察
5. 株式投資の基礎知識
6. 投資と経済の関係性を考察

上記を 2 学期半ばまでに学習し、コンピュータを用いて基礎レポートをまとめます。

10 月後半から STOCK リーグレポート作成に取りかかりますが、一番こだわるのが「テーマ設定とメッセージ」であります。

私は、STOCK リーグのレポートを、小説のようなものとして捉えています。つまり、「読む者が惹きつけられ、その展開に期待し、産み出されたメッセージに共感するものがある」ことが大切と考えます。金融教育といえば、イメージ上難解で堅苦しい分野でありますし、財務分析といえば企業にまつわるべらぼうな数字の列挙があるわけですから、生徒自身がそこへ意欲的にアプローチしていくためには「惹きつけるテーマ」を設定し、提案＝メッセージ創造を楽しみながら進めていく過程が必要なのです。

レポート提出後は、グループごとにプレゼンテーションを行います。パワーポイントを使用し、スライドに「テーマとメッセージ」を伝えます。レポートを提出するという活動で留めず、メッセージを表現・発信するという学習を行うことが学んだ成果を披露することにつながると考えます。

Copyright Nikkei Inc. All rights reserved / Copyright Nomura Holdings, Inc. All rights reserved

参加を終えて

STOCK リーグの大きなテーマは、生徒に「気づく力を養うこと」だと思います。株式投資の単なる知識を比べるのであれば、株価の上下を読み、時価総額を競うことがコンテストの焦点になるはずです。

世界の動きに気づき、日本の経済・企業のビジネス活動について考え、自分たちの生活に落とし込んでいくこと。STOCK リーグを、いわば、「経済活動への扉」と捉え、生徒にアンテナを拡げさせ、その扉をノックさせてきました。

今後の STOCK リーグのますますの充実と、その扉の向こうに歩む生徒たちの輝く成長を期待しています。

NOMURA Award という栄誉をいただき、誠に恐縮しておりますが、これからもこの賞に甘えず、これからの日本を創り上げる人材の育成に向かって、微力ながら金融教育活動に励んでいきたいと考えています。

Copyright Nikkei Inc. All rights reserved / Copyright Nomura Holdings, Inc. All rights reserved

第 13 回 NOMURA Award （特別協賛社賞）受賞者コメント

日本大学 谷川由紀子兼任 講師

参加数　　：　12 回

受賞コメント

STOCK リーグ参加の経緯

情報活用能力の向上を目標にした新講座立ち上げの際に、講座内容の相談にのっていただいた先生に勧められたのが STOCK リーグに参加したきっかけです。STOCK リーグは、ポートフォリオ作成を通じて情報を収集、分析して自分たちなりに解釈すること、レポート作成を通じてそれらの情報を他者にわかるようにまとめて、伝えることが必要になります。これらは、講座の目標に即した実践課題として適していると考えました。さらに、机上ではなく、現実の社会・経済の動きを肌で感じながら、生の社会・経済の仕組みを学ぶことは、近い将来、社会にでていく大学生にとって有用な機会になると考えました。

STOCK リーグの取り組みについて

学生たちがグループワークをうまく進めることができているかを観察し、サポートすることに、最も留意しました。具体的には役割分担、スケジュール立案と実行・管理、さらに、メンバー全員が活動に主体的に参加できるよう促すこと、などです。

Copyright Nikkei Inc. All rights reserved / Copyright Nomura Holdings, Inc. All rights reserved

毎年、スタートからしばらくは、協同作業の進め方、またメンバー間での関わり方に試行錯誤して、活動をうまく進めることができずにいる様子がどのグループにもみられます。しかし、活動が後半にいくにつれて、グループの中で、主体的に自分の役割を見つけて活動する姿（リーダーシップを発揮する学生、リーダーを支える役割を自ら担う学生など）が、見られるようになり、活動への積極性が増していくのがよくわかります。レポートについても、読んでもらえるように、また自分たちでも書くことそのものを楽しめるように、まとめ方、書き方を工夫するグループなども出てきて、感心させられることもありました。

参加を終えて

本学習は大学の授業（週 1 回、1.5 時間）だけでは終えることが難しく、学生たちは授業外に自主的に集まったり、メールをやり取りしたりして活動を進めていました。講座の特性上、学年、学科もバラバラな中でのことなので、学生たちにとってはかなり負荷の高い学習活動となりましたが、苦労しながらも集中して進めることができたグループのメンバーは、高い達成感と自信を得ることができたようです。また、実社会と接点のある活動ならではの動機付けもあったようです。

学生からは次のような意見・感想が寄せられています。

- チームメイトとともに学び、協力し、成長していけたと思う。
- 個人の力ではなく、グループでの作業は連携の部分など難しい面が多々あり、協力してひとつのことを成し遂げる喜びを実感できた。

Copyright Nikkei Inc. All rights reserved / Copyright Nomura Holdings, Inc. All rights reserved

- これから社会人となっていく私たちは、今回で終わりにせず、常に社会の動きや、経済の変化を見続けていかなければならないと思った。

STOCK リーグは、学生にとっても教員にとっても、密度が濃く有意義な学習機会になっていると考えます。貴重な機会を提供してくださったこのプログラムの主催者のみなさまに心から感謝申し上げます。

Copyright Nikkei Inc. All rights reserved / Copyright Nomura Holdings, Inc. All rights reserved

第 13 回 NOMURA Award （特別協賛社賞）受賞者コメント

神戸大学 羽森茂之 教授

参加数　：　9 回

受賞履歴　：　部門賞 ：第 4 回

敢闘賞　第 3 回、第 5 回、第 11 回　（※第 13 回以前の受賞履歴を掲載しています）

受賞コメント

このたびは、NOMURA Award をいう名誉ある賞を頂き、誠に有難うございます。この賞の名に恥じないよう、今後は、これまで以上に教育・研究活動に取り組んでいきたいと思っております。

STOCK リーグ参加の経緯

STOCK リーグに参加した背景には、私自身が、抽象理論としての経済学ではなく、実学としての経済学を学生たちに学んでもらいたいとの強い希望があったことがあります。経済学は、社会科学の女王といわれるほど精緻な理論展開が行われますが、同時に社会科学の宿命として、現実の社会とのかかわりあいが大きな重要性を持っています。そのような「経済学の実学としての側面」を学生達に学んでもらうために STOCK リーグは極めて有効ではないかと思い、3 年生のゼミ生たちに呼びかけて参加するようになりました。

STOCK リーグの取り組みについて

Copyright Nikkei Inc. All rights reserved / Copyright Nomura Holdings, Inc. All rights reserved

私が学生たちを指導するうえで最も留意している点は、STOCK リーグにおけるポートフォリオ構成を、学生たちが考える将来のあるべき日本経済像を反映するものにするという視点を持って考えてもらうということです。つまり、「皆は将来の日本はどのような社会になってもらいたいか？そのような社会を実現するためには、皆はどのような企業を応援すればよいか？」ということを学生たちに問いかけ、そのような理想の日本社会のあり方を反映する場として、ポートフォリオを構成するように取り組んでもらっています。したがって、学生たちは、株式市場の勉強のみならず、日本社会のあり方について深く考えることができるという点でも、STOCK リーグでのレポート作成はとても有益であると思います。実際に参加してみて、学生には大きな変化があったことも事実です。まず、学生たちは、新聞やインターネット等の様々な媒体を通じて、日々の社会の出来事に対して大きな関心を持つようになったことが挙げられます。また、私のゼミでは毎年参加しているために、同じ学年の学生たちの中で協調性がとても高まったことに加え、先輩が後輩たちに有益なアドバイスを与える等、学年を超えた積極的な交流が生まれていることもとても良い点であると思います。また、何よりも学生たちの新鮮な発想には、私自身もうならされることも多く、学生達の潜在能力の高さを実感し、日本もまだまだ捨てたものではない！と、嬉しく思っているところです。

参加を終えて

STOCK リーグというのは、通常の試験勉強とは全く異なり、学生達にとっては正解のない課題に取り組んでいるようなものです。自分たちで設定した問題に対して、チームのメンバー達と共に悩み、

Copyright Nikkei Inc. All rights reserved / Copyright Nomura Holdings, Inc. All rights reserved

議論し、一つのレポートを仕上げることの難しさを学べることは、大変刺激的な経験であると思います。また、学生たちはこれまであまり名前の知らなかった多くの企業の実態を知るようになり、就職活動をする際にもとても参考になっているようです。

このように、STOCK リーグは生きた日本経済を勉強できる格好の教材を提供してくれています。今後も、これまで以上に多くの皆様が積極的に参加される事を願ってやみません。

最後になり恐縮ですが、STOCK リーグをご支援していただいている日本経済新聞社（主催）及び野村グループ（特別協賛）の皆様には、心からお礼を申し上げます。

http://manabow.com/sl/result/index.html

Copyright Nikkei Inc. All rights reserved / Copyright Nomura Holdings, Inc. All rights reserved